

N/A

APPL-NO: JP07075538

APPL-DATE: March 31, 1995

INT-CL (IPC): B60R001/06, B60R001/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To install a mirror to a car body without generating a damage, prevent the rust, prevent a large projection from the car body, and prevent the mirror as an obstacle, by connecting the mirror to an installing member which has an adhesive surface at least on one surface, through a universal coupling.

CONSTITUTION: A mirror 3 is connected to an installing member 1 which has an adhesive surface to at least one surface, through a universal coupling. The installing member 1 consists of a rubber plate of a synthetic resin plate, and it is preferable its adhesive surface 1a is curved along the bending of the rear wall or the rear visor of the car body. The thickness of the installing member 1 may be made almost same as the thickness of the mirror 3, but in order to carry out some regulation of the angle of the mirror 3 in this thickness, this thickness may be made about 2 to 3 times the thickness of the mirror 3. It is preferable to make the universal coupling in a ball and socket coupling which is bendable in all directions, but it may be made in a hinge coupling bendable in two directions, or in a shaft coupling.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-268163

(43) 公開日 平成8年(1996)10月15日

(51) IntCl ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 1/06 1/02		7447-3D	B 6 0 R 1/06 1/02	G

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-75538

(22) 出願日 平成7年(1995)3月31日

(71) 出願人 395004863

荒木 義富

兵庫県氷上郡山南町草部259番地

(72) 発明者 荒木 義富

兵庫県氷上郡山南町草部259番地

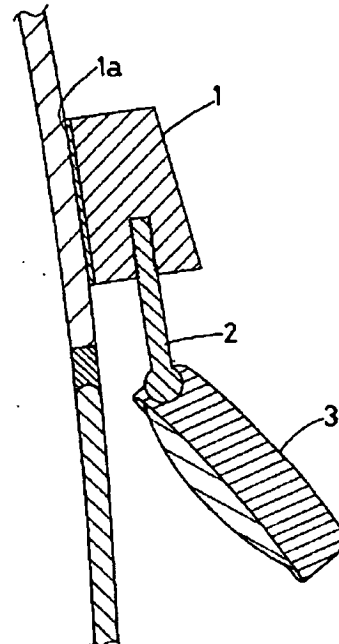
(74) 代理人 弁理士 辻本 一義

(54) 【発明の名称】 自動車用リアアンダーミラー

(57) 【要約】

【構成】 少なくとも一面に粘着面1aを有した取付部材1に自在継手2を介してミラー3を連結したものである。

【効果】 車体に傷をつけずに取り付けできるので、錆が生ずることのないものとなり、また車体から大きく突き出していないので、違和感がなく、洗車機にかける場合にも邪魔にならず、さらに追突した場合にも安全なものとなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも一面に粘着面(1a)を有した取付部材(1)に自在継手(2)を介してミラー(3)を連結したことを特徴とする自動車用リアアンダーミラー。

【請求項2】 自在継手(2)が玉継手であることを特徴とする請求項1記載の自動車用リアアンダーミラー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、ライトバン、ワゴン車等の自動車において、車体の後部壁に取り付けられ、後部壁の真下を見るようにした自動車用リアアンダーミラーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の自動車用リアアンダーミラーは、リアウインドーの上方のほぼ垂直となった車体の後部壁に直接、孔をあけ、ミラーのステーをビス等により固着して取り付けられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の自動車用リアアンダーミラーでは、車体の後部壁に直接、孔をあけ、そのステーをビス等により取り付けられているので、車体に傷がついて塗装が剥げ落ち、錆が生ずる原因となったり、しかも後部壁に取り付けられた自動車用リアアンダーミラーは、車体から大きく突き出しているため、車のデザインに調和せず、また洗車機にかける場合には邪魔になり、さらに追突した場合には危険であるという課題を有していた。

【0004】そこで、この発明は、上記従来の自動車用リアアンダーミラーが有する課題を解決するものであり、車体に傷をつけずに取り付けることができるようにして、錆が生ずることのないものとし、また車体から大きく突き出さないようにして、違和感がなく、洗車機にかける場合にも邪魔にならず、さらに追突した場合にも安全な自動車用リアアンダーミラーを提供することを目的となされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】そのため、この発明の自動車用リアアンダーミラーは、少なくとも一面に粘着面1aを有した取付部材1に自在継手2を介してミラー3を連結したものである。

【0006】そして、前記自在継手2は、玉継手とするのが好ましい。

【0007】

【作用】この発明の自動車用リアアンダーミラーは、車体に傷をつけることなく、しかも車体から大きく突き出さないようにして取り付けることができる。

【0008】

【実施例】以下、この発明の自動車用リアアンダーミラーを、実施例として示した図面に基づいて説明する。

【0009】図1～4はこの発明の自動車用リアアンダーミラーの車体への取り付け状態を示しており、図1、2はリアウインドーのすぐ上の車体の後部壁に取り付けた状態、図3、4はリアウインドーの上端に装着したリアバイザーの内側に取り付けけた状態を示している。なお、この発明の自動車用リアアンダーミラーは、図示していないが、これら以外にリアウインドーの上隅等にも取り付けることができる。

【0010】この発明の自動車用リアアンダーミラーは、少なくとも一面に粘着面1aを有した取付部材1に自在継手2を介してミラー3を連結したものである。

【0011】前記取付部材1は、ゴム板や合成樹脂板等からなり、粘着面1aが車体の後部壁やリアバイザーの内側面の反りに沿って曲がるようにするのが好ましい。また、この取付部材1は、ミラー3の厚みとほぼ同等の厚みにしてもよいが、この厚み内でミラー3の若干の角度調整をできるようにするために、ミラー3の厚みの約2～3倍の厚さとする 것도できる。

【0012】前記粘着面1aには、リアウインドーのすぐ上の車体の後部壁、リアバイザーの内側、リアウインドーの上隅等に取り付けられる前には、剥離紙(図示せず)が貼り付けられている。

【0013】前記自在継手2は、図1～4に示したようにあらゆる方向に曲げ可能とした玉継手とするのが好ましいが、図5に示したように上下または左右の二方向に曲げ可能としたヒンジ継手としたり、図6に示したように軸の回りに回動自在とした軸継手とすることができる。なお、図6に示したような軸継手とした場合には、この発明の自動車用リアアンダーミラーをリアウインドーの側部の車体の後部壁に取り付けることができる。

【0014】前記ミラー3は、丸形、角形等の適宜形状とすることができ、重量を軽くするために、鏡面を除いた部分を合成樹脂等で作成するのが好ましい。

【0015】以上のように構成されるこの発明の自動車用リアアンダーミラーは、車体の後部壁やリアウインドーの隅に取り付けた場合には車体から大きく突き出すようなことはなく、さらにリアバイザーの内側に付けけた場合には、ミラー3の下部がリアバイザーの下方から少し食み出す程度で、ミラー3が目立たないものとなる。

【0016】

【発明の効果】この発明の自動車用リアアンダーミラーは、以上に述べたように構成されており、車体に傷をつけずに取り付けることができるので、錆が生ずることのないものとなり、また車体から大きく突き出していないので、違和感がなく、洗車機にかける場合にも邪魔にならず、さらに追突した場合にも安全なものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の自動車用リアアンダーミラーを車体

3

の後部壁に取り付けた状態を示す斜視図である。

【図2】図1に示した状態のこの発明の自動車用リアアンダーミラーの断面図である。

【図3】この発明の自動車用リアアンダーミラーをリアバイザーの内側に取り付けた状態を示す斜視図である。

【図4】図3に示した状態のこの発明の自動車用リアアンダーミラーの断面図である。

【図5】この発明の自動車用リアアンダーミラーの他の

4

実施例を示す斜視図である。

【図6】この発明の自動車用リアアンダーミラーのさらに他の実施例を示す平面図である。

【符号の説明】

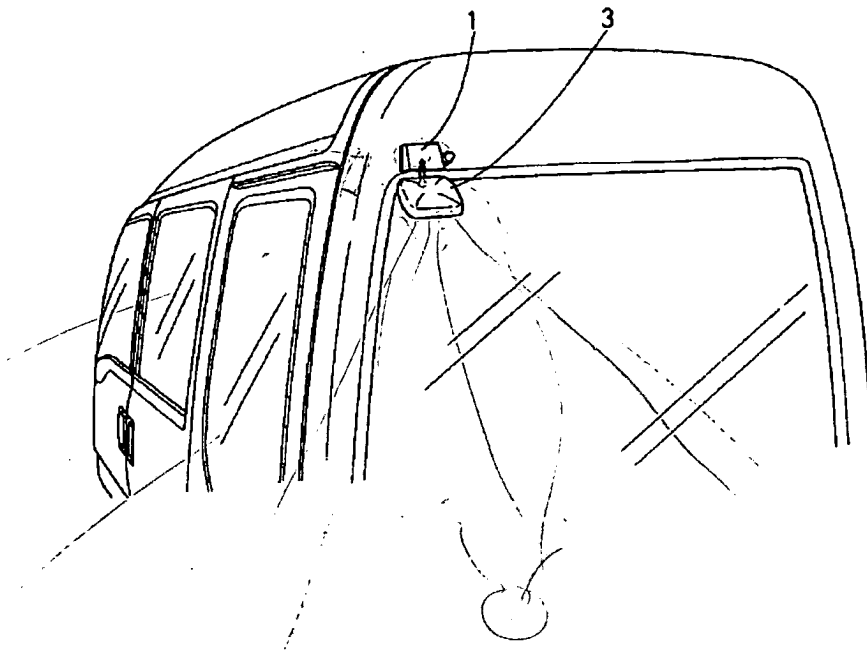
1 取付部材

1a 粘着面

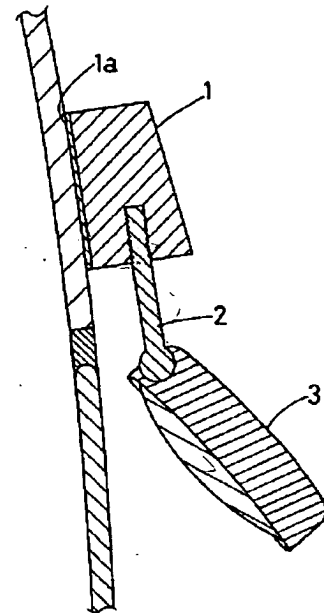
2 自在継手

3 ミラー

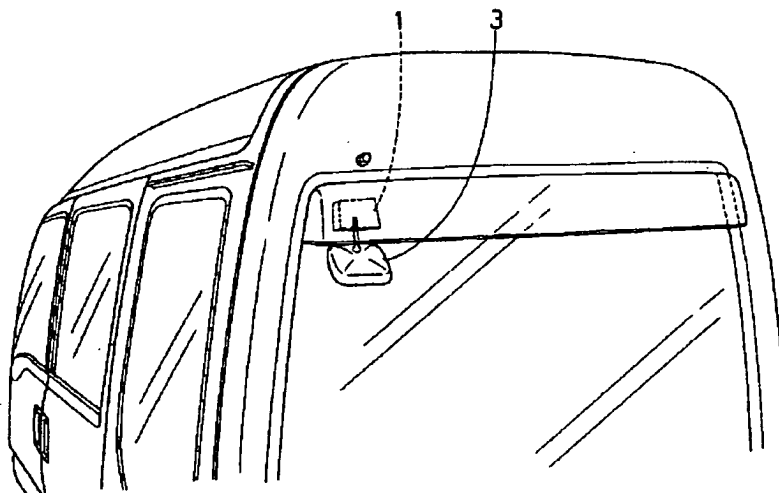
【図1】



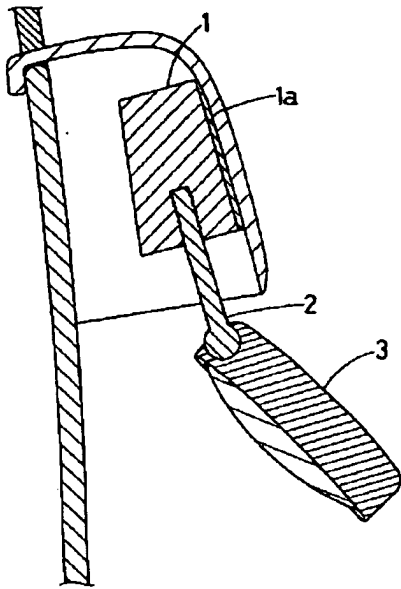
【図2】



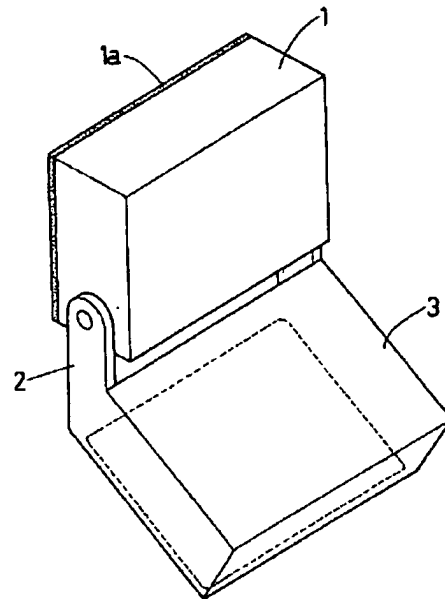
【図3】



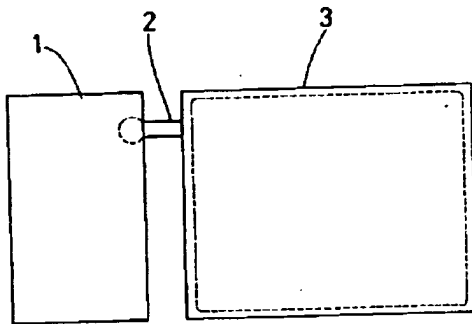
【図4】



【図5】



【図6】



DERWENT-ACC-NO: 1996-514292
DERWENT-WEEK: 199651
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Rear mirror for motor vehicle e.g. van - has
attaching portion material
which has adhesive surface coupled to mirror with universal
coupling to attach
rear side of car

PATENT-ASSIGNEE: ARAKI Y[ARAKI]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0075538 (March 31, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES	MAIN-IPC	
JP 08268163 A	October 15, 1996	N/A
004	B60R 001/06	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 08268163A	N/A	1995JP-0075538
March 31, 1995		

INT-CL (IPC): B60R001/02; B60R001/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08268163A

BASIC-ABSTRACT: The mirror (3) is coupled to an attaching
portion material (1)
with an universal coupling (2).

The attaching portion material has an adhesive surface (1a)
with which the
attaching portion material is attached to the rear side of
the car body.

ADVANTAGE - Attaches without damaging car body. Prevents
rust formation.
Prevents emergence from car body largely. Avoids problem
of incompatibility.
Avoids disturbance during car wash.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/6